

【授業概要(中学校・高等学校教諭専修免許状)】(第1期)

1. 教育課程特講Ⅳ

学校 DX は、デジタル技術を利用して教育と学校の運営を改革し、効率的で効果的な学習環境を提供する取り組みです。生徒や教師の学習や教育のニーズに合わせたサポートが可能になり、新しい学習方法や教育ツールが生まれ、教育の質と多様性が向上していきます。このような学校DXにかかわり、その基本概念や新しい学習方法、その評価、法的規制と倫理等について考えます。学校DX時代における“新たな学び”に対する教育課程(カリキュラム)を創造します。

2. 教育原理特講Ⅳ

戦後日本の教育改革のエポックに焦点をあて、教育理念、目的、内容、方法、制度に関わる基本資料・重要文献をとりあげる。原資料を読み解きながら、今日教育問題の背景、文脈について理解を深め、新たな研究動向への関心を広げる。

3. 教育方法特講Ⅱ-Ⅳ

最近の情報技術等の進展に伴い、多様な学習者に対応した多方向から撮影した教材化の開発がなされてきた。また、高品位で大容量の記録も安価で可能になり、また大容量記憶装置や高速ネットワークが急速に進み、映像教材も高品位で大容量の配信が可能になった。従来の学習教材の撮影方法や記録方法は、単方向からの撮影・記録が主なものであり、撮影方向には教材作成者の撮影意図が多く反映されていた。

今後、多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。そこで、本科目は、学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。

4. 教育情報特講Ⅳ

21 世紀の知識基盤社会における「学力」は「他者と協働しつつ創造的に生きていく」ための資質・能力の育成である。そのために、授業では、他者と共に新たな知識を生み出す活動を引き出しつつ深い知識を創造させていく経験を、数多く積ませることが重要である。また、情報化や国際化が進み、社会が大きく変化する中で、学校、そして教師は様々な変化に直面している。児童・生徒に求められる学力の変化や授業での ICT 活用など、教師はどう対応していけばよいのだろうか。本講座では「インストラクショナルデザイン」を手がかりに、教育情報の在り方について考えていく。

5. 教材開発特講Ⅳ

教材及び学習指導方法の現状と課題を理解する。また、教材開発に必要な学習指導要領・指導目標・学習の状況、課題解決など学習活動の様態を理解し、そこで活用できる教材開発を実践的に行う。また、中・高等学校でのインターネット等、新しいメディアを活用した教材開発と教育方法の事例を学修し、それらの特徴を把握する。教材開発の改善に役立つ学習の評価方法について理解する。

6. 学校経営特講Ⅳ

今日の学校は、いじめや不登校、学級崩壊といったこれまでも指摘されてきた問題に加え、ゆとり教育の見直し、「主体的・対話的で深い学び」の導入、ICT の活用といった新たな課題への対応が求められている。一方、改正教育基本法教育理念の下、学校・地域社会・家庭が連携して生徒の「生きる力」を育むことが求められており、学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」を重視するとともに、その理念のもとで学校が絶えず教育課程を見直し、教育活動の改善・向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の実現が求められている。本講義では、これらの背景を踏まえ、これからの学校経営の在り方について、多面的な視点から検討する。

7. 教育経営特講Ⅳ

教育のしくみとして「公教育」を、教育の歴史的な背景や流れとして「教育政策と学校教育」を、そして、今日学校教育の運営の中で取り組まれている「マネジメント」を取り上げ、この3つの視点から学校における教育活動の運営や経営を探究していく。こうした学びをとおして、教育活動やその運営を動かしている「考え方」を見いだし、そこから、教育実践の意味、教育の方法の在り方を問い直すこととする。

8. 遠隔教育特講Ⅳ

教育 DX(Digital Transformation)時代における“新たな学び”とは、教師がデジタル技術を活用し、学びの在り方やカリキュラムを革新させると同時に、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立することである。また、学びという側面から考えてみると教育 DX の目的は、「個別最適な学びという“新たな学び”の実現」である。20 世紀の学習観は、行動主義・認知主義の学習観を採用していた。しかし、21 世紀に入り、学習観は「主体的・対話的な深い学びの実現」という構成主義・社会構成主義の学習観に移行した。この変化から分かるように、教育が「全員に同じ教育」から「個々が持つ能力を最大限活かす教育」に変化している。ここでは、教育 DX 時代における 遠隔教育という“新たな学び”の在り方について考える。